

平成 20 年 11 月 17 日

各 位

会 社 名 旭テック株式会社
代表者名 代表執行役社長 石井英夫
(コード番号 5606 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 小谷野義雄
(T E L 0537-36-3103)

米国での子会社メタルダイン・コーポレーションの
平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算の発表について

当社は平成 20 年 10 月 30 日付「当社完全子会社の現金による社債の公開買付けに関するお知らせ」において、子会社であるメタルダイン・コーポレーション（メタルダイン社）が、同社の発行済み社債（残元本の合計は 392.2 百万^{ドル}）について現金による公開買付けを行うことを公表しております。当該買付けの募集は平成 20 年 11 月 26 日（米国時間）まで継続され、当該買付けが成立した場合、同社の有利子債務は 908.4 百万^{ドル}から 588.5 百万^{ドル}に大きく削減され、メタルダイン社及び旭テック（連結）の財務状況も大きく改善されることとなります。従って、後発事象である当該買付けの結果による当社の業績に与える影響額を見極めた上で、当社の同決算短信を発表する必要があると判断した為、当社は平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算短信を平成 20 年 11 月 27 日に発表予定であります。

一方、メタルダイン社は、同社の発行済み社債（残元本の合計は 392.2 百万^{ドル}）について現金による公開買付けを行うことを公表しております。

当該買付けの募集は平成 20 年 11 月 26 日（米国時間）まで継続されます。

従いまして、投資家に対し早期の財務内容の開示の必要性があるため、メタルダイン社は同社の平成 21 年 3 月期第 2 四半期の決算発表（米国会計）を、平成 20 年 11 月 17 日（米国時間）に米国内で、当社の平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算短信の発表に先行して発表する予定であり、その要旨は別紙の通りです。

以 上

(別添)

メタルデザイン社 第2四半期決算発表要旨 (和訳)

1. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千ドル)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成20年9月28日)	前連結会計年度末に 係る連結貸借対照表 (平成20年3月30日)
(未監査)		
資産の部		
現金及び預金	\$ 42,719	\$ 18,553
売掛金及び未収入金(純額):		
売掛金(純額: 貸倒引当金 - 平成20年9月28日末 \$1,331 及び平成20年3月 30日末 \$1,777)	142,374	144,278
その他未収入金	<u>9,884</u>	<u>13,167</u>
売掛金及び未収入金合計(純額)	152,258	157,445
たな卸資産	87,997	93,143
繰延税金資産	8,328	8,328
前払費用及びその他流動資産	19,290	23,548
非継続事業資産	<u>47,073</u>	<u>84,965</u>
流動資産合計	357,665	385,982
有形固定資産(純額: 減価償却累計額 - 平成20年9月28日末 \$162,838 及び 平成20年3月30日末 \$116,999)	485,248	532,218
のれん	173,693	223,320
無形固定資産	447,474	482,346
その他	<u>18,615</u>	<u>20,943</u>
資産合計	<u>\$ 1,482,695</u>	<u>\$ 1,644,809</u>
負債の部及び資本の部		
流動負債:		
買掛金	\$ 179,092	\$ 212,019
未払費用	85,703	94,758
関係会社借入金	22,208	23,935
非継続事業負債	19,611	24,783
1年内返済予定の長期借入金	<u>11,400</u>	<u>8,190</u>
流動負債合計	318,014	363,685
社債及び長期借入金	874,763	831,777
繰延税金負債	81,246	88,406
少数株主持分	716	835
その他	85,454	108,940
非継続事業負債	<u>6,721</u>	<u>8,643</u>
固定負債合計	<u>1,366,914</u>	<u>1,402,286</u>
株主資本:		
資本金(普通株式, 額面 \$0.01, 発行可能株式及び発行済株式数: 1,000 株)	--	--
資本剰余金	445,127	428,627
利益剰余金	(388,557)	(280,151)
その他の包括利益累計額	<u>59,211</u>	<u>94,047</u>
株主資本合計	<u>115,781</u>	<u>242,523</u>
負債資本合計	<u>\$ 1,482,695</u>	<u>\$ 1,644,809</u>

(2) 四半期連結損益計算書

(単位:千ドル)

	当第2四半期連結累計期間 〔自平成20年3月31日 至平成20年9月28日〕	前中間連結会計期間 〔自平成19年4月2日 至平成19年9月30日〕
	(未監査)	
売上高	\$ 750,292	\$ 874,632
売上原価	<u>(724,635)</u>	<u>(802,512)</u>
売上総利益	25,657	72,120
販売費及び一般管理費	(22,329)	(35,271)
特別退職手当	(633)	(1,105)
固定資産減損損失	(132)	--
のれん減損損失	<u>(49,403)</u>	<u>--</u>
営業利益(損失)	<u>(46,840)</u>	<u>35,744</u>
その他利益及び費用(純額):		
支払利息	(44,997)	(48,067)
債務免除益	31,035	--
その他(純額)	<u>(3,257)</u>	<u>(3,903)</u>
その他利益及び費用合計(純額)	<u>(17,219)</u>	<u>(51,970)</u>
税金等調整前四半期純損失(継続事業)	(64,059)	(16,226)
法人税等合計(継続事業)	<u>6,310</u>	<u>58</u>
四半期純損失(継続事業)	(70,369)	(16,284)
税金等調整前四半期純損失(非継続事業)	(4,511)	(4,965)
法人税等合計(非継続事業)	<u>571</u>	<u>827</u>
四半期純損失(非継続事業)	(5,082)	(5,792)
減損損失(非継続事業)	<u>(32,955)</u>	<u>--</u>
四半期純損失	<u>\$ (108,406)</u>	<u>\$ (22,076)</u>

(3) 四半期要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千ドル)

当第2四半期連結累計期間		前中間連結会計期間	
自	平成20年3月31日	自	平成19年4月2日
至	平成20年9月28日	至	平成19年9月30日

(未監査)

営業活動によるキャッシュ・フロー:		
営業活動によるキャッシュ・フロー.....	\$ (48,087)	\$ (9,141)
投資活動によるキャッシュ・フロー:		
有形固定資産の取得による支出.....	(20,264)	(30,083)
リース資産の買戻しによる支出.....	(468)	--
有形固定資産の売却による収入.....	2,467	1,048
親会社からの投資による収入に対する調整額.....	--	(116)
非継続事業の投資活動によるキャッシュ・フロー.....	(328)	(3,291)
投資活動によるキャッシュ・フロー.....	(18,593)	(32,442)
財務活動によるキャッシュ・フロー:		
シンセティックファシリティの借入れによる収入.....	--	2,077
リボルビングファシリティの借入れによる収入.....	132,650	67,950
リボルビングファシリティの返済による支出.....	(57,650)	(42,950)
その他借入れによる収入.....	2,834	16
その他借入金の返済による支出.....	(2,292)	(1,350)
親会社からの追加増資による収入.....	16,500	--
非継続事業の財務活動によるキャッシュ・フロー.....	--	(101)
財務活動によるキャッシュ・フロー.....	92,042	25,642
現金及び現金同等物に係る換算差額.....	(1,196)	328
現金及び現金同等物の増減額(純額).....	24,166	(15,613)
現金及び現金同等物の期首残高.....	18,553	28,860
現金及び現金同等物の四半期末残高.....	\$ 42,719	\$ 13,247
キャッシュ・フロー参考情報:		
法人税等の支払額(純額).....	4,442	5,879
利息の支払額.....	46,020	54,322
非資金取引-キャピタルリース(純額).....	30	275

2. 注記事項

(1) のれん

連結財務諸表提出会社（以下、「メタルダイン社」という。）は年に1度或いは減損の兆候が存在する場合はそのつど、米国財務会計基準（“SFAS”）第142号「営業権及びその他の無形資産の会計」に従い、のれんの減損テストを行う。当第2四半期の間、軽トラック及び乗用車の北米における計画生産台数が大幅に減少、特にビッグ3関連が減少した結果、メタルダイン社は、SFAS 第142号に義務付けられているように、シャシー事業部内のあるレポーティング・ユニットについて、減損テストを行う必要があると判断した。減損テストを行った結果、上記レポーティング・ユニットの帳簿価額が割引後予想キャッシュ・フローを用いて算出した公正価値を上回っていると判定された。更に、当該レポーティング・ユニットにおけるのれんの想定公正価値、つまり当該レポーティング・ユニットの見積公正価値をそのユニットの資産及び負債に振分けた後の残存価値はゼロであり、当該レポーティング・ユニットにおけるのれんを全て減損する結果となった。当第2四半期に計上されたのれんの減損金額は49.4百万ドルである。

当第2四半期累計期間におけるのれんの帳簿価額の推移は以下の通りである。

	(単位：千ドル)		
	パワートレイン事業部	シャシー事業部	合計
前連結会計年度末	\$ 102,474	\$ 120,846	\$ 223,320
のれん減損損失	-	(49,403)	(49,403)
偶発税金債務調整額	(101)	(123)	(224)
当第2四半期連結会計期間末	<u>\$ 102,373</u>	<u>\$ 71,320</u>	<u>\$ 173,693</u>

(2) 非継続事業

メタルダイン社は、今年度に発表した事業再構築計画（「Plan to Win」）の一環として、ミシガン州のミドルビル工場及びイリノイ州のナイルス工場を売却又は閉鎖することを検討している旨、平成20年7月23日（日本時間）に公表した。更に、イタリアのGLO工場の売却計画を進めている旨、平成20年9月3日（日本時間）に公表した。ミドルビル工場とナイルス工場は共にパワートレイン事業部に属し、GLO工場はシャシー事業部に属する。メタルダイン社は、ミドルビル、ナイルス、及びGLOの各事業が非継続事業に該当すると判断し、当該3工場の当期及び前期の経営成績を連結損益計算書において非継続事業として、更に、当期及び前期の資産及び負債を連結貸借対照表上において非継続事業資産及び負債として、それぞれ開示している。

メタルダイン社は、ミドルビル工場及びナイルス工場の帳簿価額が公正価値から売却費用を控除した金額を上回っていると判断し、当第2四半期中に当該2工場の固定資産の簿価を公正価値まで修正し、減損損失を計上した。非継続事業における減損損失の金額は33.0百万ドルで、ミドルビル工場とナイルス工場ののれんを除く有形無形固定資産の減損と0.8百万ドルの売却費用を反映したものである。

(3) 社債の公開買付

メタルダイン社は、発行済の社債、2013年11月1日満期10パーセント優先担保付社債（「2013年債」）及び2012年6月15日満期11パーセント優先劣後社債（「2012年債」）対して、現金による公開買付けを行なう旨、平成20年10月30日（日本時間）に公表しました。

公開買付けと同時に、メタルダイン社は、2012年債及び2013年債にかかる証書の修正案に対する同意も勧誘しています。修正案は、証書に定められたほぼ全ての制限条項、並びに一定の債務不履行事由規定及び関連規定を消滅させ、両社債に設定された全ての担保を解除することを目的とするものです。

更に、公開買付けに伴い、メタルダイン社は、公開買付けが実現できなかったときに限り考慮する選択肢として、予備的再生計画への賛成票の勧誘も行っております。この再生計画ではとりわけ、債務者の仕入先を含めた無担保の一般の債権者がその債権につき、計画の効力発生日において、又は、効力発生日後の通常の事業の中で、全額を現金で支払われることを提案しています。

2012年債及び2013年債を対象としたメタルダイイン社による公開買付けの成立は、両社債の元本総額のうち（合算ベースで）95パーセント以上が応募されること、親会社である旭テック及びメタルダイイン社の一定の顧客から資金提供を受けること、及びその他一定の一般的な条件を含む一定の条件がメタルダイイン社により満たされること又は放棄されることを条件とするものであります。

公開買付けは、2008年11月26日、又はメタルダイイン社が決定するこれより遅い日まで継続されます。早期参加期限（現時点では2008年11月18日）までに応募された社債に提示される買取金額は、2012年債に関しては元本1,000ドル当たり106.30ドル、2013年債に関しては元本1,000ドル当たり270.18ドルです。早期参加期限の経過後、最終期日までに応募された社債については、メタルダイインは、2012年債に関しては元本1,000ドル当たり101.30ドル、2013年債に関しては元本1,000ドル当たり265.18ドルを支払う予定です。2012年債及び2013年債のすべてが早期参加期限に応募された場合、買付け代金は、合計約65百万ドルになります。